

「僕が撮るものは全て壊れる。『僕に撮られると魂が吸い取られる』って言われちゃってね」と笑う森さん。横浜を愛し、横浜を撮り続けて50年。港・街・人…横浜に息づくもの全てにフォーカスを合わせ、今日も「記憶の記録」を撮り続ける。

◎ 横浜生まれ横浜育ち

実家は西区浅間町の八百屋。横浜駅西口が遊び場でした。駅ビルの中にボーリング場やライブハウス、映画館があってよく行きました。別に不良少年ではなかったですよ(笑)。映画は小学校に上がる前から見ていました。店に映画館の上映ポスターを貼っていて招待券をもらうので、よく両親に連れて行かれました。それで映像系に興味を持ったのだと思います。

父は絵を描いたり、物を作ったり、ちょっと変わっていたのであの辺りでは有名人。店で鰻も割いていて、夏の間はかば焼きも売っていました。おかげで我が家の食卓は毎日鰻。失敗して売れないものが食卓に上がりました。たれも自家製で本当に美味かった。よくわからない八百屋です(笑)。そんな父の影響からか、自分も小さい時から絵を見たり描いたり、何かを作るのが好きでした。

◎ バンド少年、カメラの面白さに気づく

義理の兄(スタジオアマノ創始者)が写真をやっていた。僕はバンドをやったり、ふらふらしていたので、DPE(フィルム現像やプリント)を手伝わされて。面白いな、と思ったのがこの道に入ったきっかけです。

遊覧用の小型ヘリコプターに乗って撮影す

る航空写真を兄は得意としていました。乗せてもらった時に僕が酔わなかったので、「今度撮る時また乗れ」って。助手からのスタートでした。昔、戸塚のドリームランドにヘリポートがあって、そこから飛ぶんです。面白かったですね。

当時はフィルムの大きい、大型カメラで撮影しました。今はデジタルなので押せばみんな写っちゃうけど、当時は絞りがどうのこうのっていう時代でしたから、写真の世界に入るのは大変だった。技術を覚えるまでにすごく時間がかかる。写真の世界って奉公みたいなものなので、修業が厳しい。何せ兄貴と僕の2人しかいなかったんでずっと運転手で、長い助手生活でした。たまに撮らせてくれて「この仕事はお前がやれ」みたいな感じでした。

◎ メリーさんとの出会い

引いて物を見ると全体が見える。そうすると「こんなところあったっけ?」って。それで上からも下からも撮るようになりました。日ノ出町とか黄金町とか伊勢佐木町とか、あと横浜橋とか寿町とかね。あの時代はちょっと怖いところだったので、隠し撮りっていう感じで。

メリーさんを撮るようになったのもこの頃から。メリーさんは、誰とも顔を合わせない。絶対正面を見ない。ちょっと奇異でした。「あ、来たな」って思うとピントと露出だけ合わせておいて、パシャッと隠し撮りです。初めて見た時、父に「白い人、誰?」って聞いたら「あれは貴婦人だよ」と。当時はメリーさんも若くてスマートだったし、本当に貴婦人みたいだった。

メリーさんをきちんと撮りたいと思って、若葉町のGMビルに出向いてお願いし、1年間、みっちり撮らせてもらいました。1993年のことです。1995年、メリーさんが



写真家 森 日出夫氏 Hideo Mori

1947年、横浜西区生まれ。JPS(日本写真家協会)所属。長年撮り続けた横浜の港・街・人を「森の観測」と名付け、それらの作品を写真集や個展に数多く発表。独自の感性で「記憶」を記録し続けている。1996年ニューヨークADC賞受賞。2001年第50回横浜文化賞奨励賞受賞。2016年、1960年代から撮り続けた横浜の記憶をまとめた写真集「記憶の記録」を刊行。

横浜を離れた年に写真集「YOKOHAMA PASS ハマのメリーさん」を刊行しました。

◎ 写真を読む、写真が語る

写真は読むもの。だから僕の写真には文章を入れません。見た時に何を感じるか、何を語ってくるか。写真には強さがあります。写真は、その時代に戻って見ることができるし、いろいろな読み方ができる。「記憶の記録」だと思えます。建物が変わっても、そこに行くと記憶の欠片みたいなものが必ず残っている。例えば、「角」。僕にとっては「街角＝記憶の破片」です。

◎ 横浜で、巡り合い

生まれた場所だからいい場所に決まっているんですが、横浜はいい街です。人を無視しないでしょ?もともと港町だから、

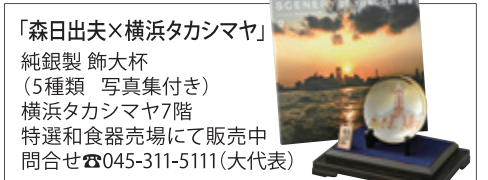
受け入れ態勢があったのでしょうか。

「邂逅」という言葉が好きです。巡り合い。誰かに会いたい、というわけではなく、自然に生まれるもので、予期できるわけじゃない。人生そうじゃないですか。僕は大好きな横浜を盛り上げていく仲間巡り合いました。

横浜をもっと盛り上げたい、元気にしていきたい。それには写真が一番。「横浜ってこんなにいいんだ」って、見ればわかるでしょ。

月刊「森日出夫」も発行します。横浜初の写真冊子を作ろうと画策中です。どうなるかなあ。12冊目は箱入りになりますので(笑)。

面白いことができる、ちょうどいい年齢になったのかな…今年、古希を迎えます。



「森日出夫×横浜タカシマヤ」純銀製 飾大杯(5種類 写真集付き)横浜タカシマヤ7階 特選和食器売場にて販売中 問合せ☎045-311-5111(大代表)

まいどおおきに支店のみ取扱 日本国内に居住する満20歳以上の個人の方

「まいどおおきに定期」来店不要

一口 100万円～1,000万円

年0.30% (税引後) (お預け入れ期間1年) (H29.6.1現在)

※上記利率は初回満期到来時まで。2年目以降は満期時点の同商品利率で自動継続。詳しくは、下記専用フリーダイヤルにお電話下さい!!

お申込みお問い合わせは オトク イッパイ 受付時間 平日9:00～16:00

☎0120-009-581

まいどおおきに支店 検索

大阪商工信用金庫

レコードプレーヤー スピーカー アンプ など

使わないオーディオをお持ちの方へ

顧客満足を目指すプロのスタッフが、無料で出張査定&買取いたします。査定額にご納得いただけましたら、その場で現金にてお支払いいたします。

感謝の買取金額をご提示します!

この機会に 使わないオーディオをプロに任せて 整理してみませんか?

選べる3つの買取方法 無料出張 店舗 宅配

高価買取

出張&査定 無料!! 完全予約制

出張買取等で店舗にスタッフが不在の場合があります。事前にお問合せください。

品川店オープン キャンペーン!

お電話で「ヨコハマよみうりを見た」とお伝えください。※2017年7月31日まで

通常買取価格より **20%アップ!!**

運営部「サイクルマスター」(古物商許可番号) 神奈川県公安委員会 第451350005747号 東京都公安委員会 第305590806398号

品川店: 神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町1-22-12
川崎店: 神奈川県川崎市幸区南加瀬1-17-45
横浜店: 神奈川県横浜須賀町上町3-10
品川店: 東京都品川区南大井4-19-15

※一部出張できないエリアもあります

☎0120(450)562 受付時間/9時～21時

オーディオ買取専門店 オーディオサウンド

問合せ番号 5 1708